

## 令和元年度 地域振興事業

事業名	事業概略
みなまた和紅茶ブランド推進事業	水俣地域で生産される紅茶のブランド推進を図り、紅茶並びに緑茶を広くPRする。
みんなで楽しく 健康寿命をのばそう会 サードステージ	平均寿命と健康寿命の差を縮めるため、地元のパワースポット巡り、健康に関する講演会、家族のための料理教室、健康増進のための運動実践、実践的なグラウンドゴルフ、総括としてのワークショップ方式の討論会などを実施する。
水俣の海乗船体験によるもやい直し推進モデル事業	環境学習を希望する児童たちに、現地訪問学習に加えて、船上から環境が復元された現在の水俣の海を見せることで、水俣病や環境問題への理解を更に深めてもらう。
マリナクティビティを活用した交流人口増加対策事業	スキューバダイビング・シュノーケリング・アウトリガー・シーカヤック・SUPの合同体験会を開催するとともに、熊本県内外で水俣のマリナクティビティの認知度を広めるために、様々なイベント等に出向きPR活動を実施する。
SUPの聖地化を通じたマリナクティビティによる人材育成と新たな産業の創出	SUPを通して水俣の海と地域の魅力を発信し、全国規模の大会を開催することにより、水俣市をSUPの聖地とする。また、マリナクティビティを水俣市に定着させ、関係者の人材の育成を図り、観光面をはじめとする新たな産業につなげる。
過疎地域におけるイベント運営による交流人口の拡大と地域のPR事業	世代を問わず楽しめるオリジナリティーのあるイベントを開催する。世代間のコミュニティの場を提供することにより、地域外からの集客による地域間交流の促進と地域のPRを行う。
もやい直し事業「辻井いつ子さん講演会」	生まれつき全盲の我が子に寄り添い、その可能性を信じ、世界的ピアニストに育てられた辻井いつ子さんの講演会を開催することにより、障がい者や子どもに限らず個人の可能性と生き方を尊重することの大切さや支え合える地域社会の構築、さらなるもやい直しを推進する。
劇団「丸福ボンバーズ」水俣公演プロジェクト	地域住民が主体的に企画運営する「住民参加型」の演劇公演を開催することにより、舞台芸術の鑑賞の機会の創出とともに、地域住民の芸術・文化意識の向上、文化交流の促進及び域内交流人口の拡大を図る。
水俣・芦北地域における、集客交流プランと地域コーディネート組織の創出事業	教員、大学生、研究者、企業及び外国人に対する集客交流事業を支える民間コーディネート組織を創設するため、受け入れに必要なプログラム作り、先進地の視察、人材育成、ネットワークづくり等を実施する。
集まる会(地域サロン)	子どもの貧困、高齢者の孤食等の問題を解消するため、サロンを開設し、人々が集える場と食を提供することにより、世代間交流や子どもの健全育成を図る。

<p>フットパスによる観光地の魅力づくり事業</p>	<p>町内にあるフットパスコースでのイベントの開催により町内外へ魅力を発信するとともに、旅行商品の造成のため、フットパスツアーを実施する。また、Instagramを用いたフォトコンテストを実施し、第三者を活用したSNSによる芦北町の魅力発信を図る。</p>
<p>里山のたからもの事業</p>	<p>33観音や棒踊り、国見水源や大関米、などの有形・無形の地域資源を、住民と地域外の芸術やアートを学ぶ大学生、専門家などがともに、これからのあるべき姿を模索し、形にしていく。</p>
<p>移住・定住促進事業「お試し住宅」</p>	<p>芦北町にいただく移住の相談では、町での生活を体験するための施設や住まいが見つかるまでの仮住まい等についての要望が多くある。そこで、一層の移住・定住を促進するため、移住希望者が、本町での生活を体感するための「お試し住宅」を整備する。</p>
<p>トップアスリート合宿誘致事業</p>	<p>芦北町では、東京五輪で競技種目に初めて採用された空手道や新体操で、全国レベルの結果が出ているとともに、数々の大会等を開催してきた経験から、両競技のナショナルチーム等の合宿誘致に取り組み、合宿のメッカを目指す。</p>
<p>果樹の新たな担い手確保対策事業</p>	<p>水俣・芦北地域の農業産出額の約半分を占める主要作物である果樹の担い手を確保するため、関係機関と一丸となって、県内外からの新規就農希望者の募集から、就農定着支援までの仕組みを構築する。</p>
<p>住民参画型アートプロジェクト 柳幸典つなぎプロジェクト</p>	<p>日本を代表する現代美術作家の柳幸典氏を招聘し、津奈木町のみならず隣接する地域の資源の有効活用につながる住民参画によるプロジェクト方式の大型展覧会を、つなぎ美術館開館20年目となる2021年に開催する。</p>
<p>熊本から宮城へ 水曜日の消息展(仮称)</p>	<p>赤崎水曜日郵便局とその後継企画である鮫ヶ浦水曜日郵便局の活動を届いた手紙や地域の歴史や文化とともに総括することで、過疎地域における芸術文化活動の可能性を探る展覧会を開催する。</p>